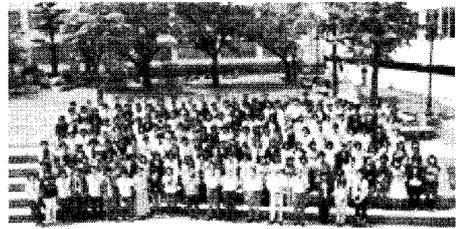


46年目を迎える司書・司書補講習

司書課程委員会委員長 佐藤 允 昭

別府大学司書・司書補講習は、昭和36（1961）年に開講して以来、平成18（2006）年度で45年目を迎えました。地方にありながら、このように長期間継続できたということは、別府大学ならではの充実した講習内容が資格取得を目指す多くの人々に評価されてきたことを物語っています。開講以来、平成18（2006）年度までの修了者数は、司書が5,431人、司書補が3,178人、併せて8,609人に達しています。



18年度司書集合写真

や夏恒例の行事となったこの講習は、司書課程と附属図書館が担当して開催してきましたが、休暇中に開講されているせいか、学生諸君にはいまひとつ知られてないようです。そこで、この紙面を借りてQ&A形式で紹介してみましよう。

Q1：司書・司書補とは、どんな資格ですか？

A：司書・司書補とは、図書館法第5条に規定される図書館の専門的職員の名称です。資格を取得するには同法第6条に規定されている講習を受けなければなりません。

Q2：司書・司書補講習の経緯は？

A：敗戦後間もない昭和25（1950）年4月に図書館法が公布され、翌年26（1951）年6月から第6条に規定する司書講習が開催されるようになりました。はじめ全国の国立大学で順次開催されていましたが、おもに私立大学で実施されるようになったのは、昭和31（1956）年からです。本来この講習は、図書館法の公布に伴って必要となった司書及び司書補の資格を、公共図書館の現職者に取得させるための5年間の暫定講習として始められたものでありましたが、現職者以外の資格取得の場ともなり、その後も継続されて今日に至っています。

Q3：別府大学では司書講習はいつ頃始まりましたか？

A：別府大学に司書課程が設置された昭和36(1961)年からです。この年の夏、文部大臣の委嘱を受けて司書・司書補講習がはじめて開催されました。第1回の講師陣を見ると、福岡県立図書館長菊池租、同志社大学講師小野則秋、東京大学助教授裏田武夫、宮崎県立図書館長日高一、鹿児島県立図書館長久保田彦穂（児童文学作家椋鳩十）、徳島県立図書館長蒲池正夫（職名はいずれも当時）など、我が国の図書館界に大きな足跡を残した諸先生方が名を連ねています。このような斯界の権威を結集した講師陣は、別府大学司書・司書補講習の伝統として今日まで引き継がれています。

Q 4：司書課程と司書講習はどこが違いますか？

A：取得できる資格は同じですが、受講対象と授業形式が違います。

司書課程は、別府大学及び別府大学短期大学部の学生を対象に開講されています。また授業は通常の形式で、2単位の講義科目は週1コマの授業を15回行います。

一方司書講習は、現職の図書館員で司書や司書補の資格を持たない人、別府大学以外の大学の学生及び社会人を対象に夏季休暇中に行われています。したがって別府大学の学生は、原則として受講できません。授業形式は、集中講義形式で行います。たとえば、図書館概論2単位を取得するには連続4コマの授業を3日間+3コマの計15コマの講義を連続して受講しなければなりません。ちょっときついですね。

Q 5：どのような人たちが受講していますか？

A：18年度受講生のアンケートから受講者像をみると次のようになっています。

- ①男女比は、8対2で女性が圧倒的に多い。
- ②年齢層は20歳代から60歳代まで各年代にわたっている。平均年齢は26.6歳。
- ③出身県別のベストスリーは、福岡25パーセント、大分県23パーセント、熊本14パーセントの順で、九州全体で84パーセントを占めています。四国は3パーセント。そのほか北海道から2名、沖縄から3名います。なんとオランダからも1名きました（福岡出身の女性）。このように全国各地から受講生がやってくるのが本学の特徴の一つとなっています。
- ④受講の目的は、54パーセントが「図書館の専門的業務に従事するため」とか「資格を得できれば就職に役立たせたい」と就職をあげています。しかし、「図書館がすき」あるいは「一般教養として知的満足を得たい」など必ずしも図書館への就職を目的にしない人も35パーセント程度います。司書講習の一面を表していると思います。

Q 6：別府大学の司書講習が多くの人々から評価を得ることができた理由は何でしょうか？

A：講習内容が充実していることと、別府ならではの特色が評価されているのではないかと思います。たとえば次のようなことがあげられます。

① 全国レベルの講師陣による講義

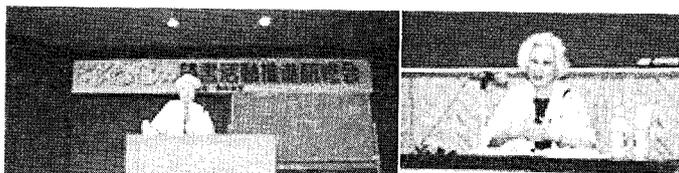
別府大学司書・司書補講習は、本学教員だけでなく、科目ごとに全国から最適任者を招聘し講習の充実を図っています。

② 少人数編成による演習

演習科目（「レファレンスサービス演習」、「資料組織演習」、「情報検索演習」）は、演習本来の目的に沿って講師の指導が行き届くよう少人数のグループに分けて授業を行っています。

③ 特別講演の開催

省令科目の授業以外に図書館や読書をテーマにした外部講師による特別講演を実施しています。昨年は本学主催の「子どもの読書活動推進研修会」の講演も聴講しました。



2006年8月7日開催 子供の読書活動推進研修会

④ パソコン基礎セミナーの実施

授業では、パソコンの初歩的な操作技能が必要となります。そこで、パソコン操作に未経験な受講生を対象とする基礎セミナーを実施することによってスムーズに受講できるよう配慮しています。



パソコン授業風景

⑤ 交流会の開催など受講生とのコミュニケーションを重視している

講習期間中、受講生の交流と親睦を目的に交流会が開催されます。昨年は、市内にあるヒットバレードクラブで、受講生のほかに講師の先生、講習担当職員、図書館職員も参加して盛大に行われました。

⑥ 宿泊施設の充実

遠隔地からの受講生のために、永年にわたって講習生用として実績のある宿泊施設を紹介しています。司書は9週間、司書補は6週間にわたる長期講習であるため、全国各地からの受講生にとって宿泊施設の確保は重要な課題です。しかし本学は全国有数の温泉保養地である別府市に位置し、大学周辺に鉄輪温泉などの手頃な宿泊施設に恵まれています。長期間の講習に求められる宿泊施設の条件として、低料金で安心して宿泊できること、食事の提供があること、通学に便利なことなどがあげられます。このような諸条件を十分満たす宿舎が、大学から徒歩15分程度の至近で利用できることも本学の講習の評価を高めている要因となっています。“勉強の疲れを温泉でいやす”これこそ別府ならではのことでないでしょうか。なお、大学・鉄輪温泉宿舎間にはシャトルバスの運行も行っています。

⑦ 司書講習ホームページの開設

司書・司書補講習の広報活動の一環としてホームページを開設。受講生、修了生、これから受講をしようとする人などからのアクセス数は年間2万件を越えています。

またBBSでは、受講生や修了生による情報交換も活発におこなわれています。

(司書講習ホームページ <http://www.beppu-u.ac.jp/LSS/>)

⑧ 年間を通して常時対応できる司書講習事務室の設置

別府大学司書講習事務室には、講習担当の教員と事務職員が常駐し、電話、手紙、メールなどによる講習に関するさまざまな質問や相談に応じています。

(司書講習メールアドレス shisho@mc.beppu-u.ac.jp)

Q7：司書講習の実施に際し特別に留意していることは何かありますか？

A：次のようなことを心がけています。

① 募集方法を工夫する

主にHPを使った募集活動に力を入れています。その場合、

- ア. 情報の更新（常に最新情報の提供に心がける）
 - イ. 情報のランク付け（一目で情報の重要度が判断できるようにする）
 - ウ. 写真による情報提供（講習の様子がわかりやすいように写真を多用する）
- などに気を配っています。

② 受講生の満足度を高める工夫をしています。たとえば

- ア. 講師は全国から最適者を選ぶ
- イ. 教育環境の整備（教室・図書館・パソコン教室・食堂・トイレなど）
- ウ. 長期滞在に適した宿泊施設・通学手段の確保（鉄輪宿舎との連携、シャトルバスの運行等）
- エ. 楽しい思い出づくりに協力する（見学、交流会、集合写真、コンパ、文集作成等）

③ これから受講しようとしているひと、現在の受講生、修了生などとのコミュニケーションを大切にしています。

- ア. メール、電話、来訪などによる相談・質問に常時対応できる体制作り
- イ. できるだけフレンドリーに対応する（不安感の除去に努める）
- ウ. 質問への回答は、速やかに、具体的に、簡潔に

Q8：修了生の就職のための支援などは？

A：司書課程の学生と司書講習の受講生のために司書の求人情報を提供しています。毎年5月から鳥取、岡山以西の公共図書館を設置している自治体すべてに司書の求人についてアンケートを実施し、その結果は図書館内の「司書・公務員採用情報ファイル」で閲覧できます。

司書講習では受講生が自分たちで文集を作成するのが伝統となっています。

この文集を読むと、「濃い夏だった」とか「きついけど楽しかった」あるいは「これまででこれほど勉強したことはなかった」など講習について受講生一人一人の率直な感想を知ることができます。その中の「来てみて良かった」。この一言がどれほどわたくしたちに力を与えてくれることでしょう。

今年の夏、別府大学の司書講習は46年目を迎えます。まだ見ぬ受講生の期待を感じながら、すでに準備は始まっています。

（さとう まさあき 別府大学教授 附属図書館館長）